

【専門分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
※母性看護学概論	1 (15)	2	第1学期	専任教員
目 標				
リプロダクティブヘルス・ライツの基礎や動向および看護について学ぶ				
ディプロマポリシーとの関連：DP1、DP2、DP5の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	課題
1	2	1. 母性看護の概念 1) 母性看護の主な概念 ①母性とは ②父性とは ③ジェンダー ④家族の発達・機能	講義	
2	2	2) 母性看護と法律 ①労働基準法②母子保健法③母体保護法④戸籍法 ⑤男女雇用機会均等法⑥育児・介護休業法 ⑦配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 ⑧死産の届け出に関する規程・施策：新エンゼルプラン、健やか親子21	講義	
3	2	3) 母性看護に関する統計 ①出生率 ②妊産婦死亡率 ③乳児死亡率④合計特殊出生率 ⑤死産率 ⑥離婚率	講義	
4	2	2. 人間の性と生殖 1) 発生と遺伝：受胎のしくみ、妊娠経過と胎児発育	講義	
5	2	2) 性周期と性反応のメカニズム 3) 性行動 4) LGBT	講義	
6	2	3. 性と生殖に関する健康と権利 (リプロダクティブヘルス・ライツ) 1) プライバシー保護 2) 人工妊娠中絶 3) ハイリスク児の医療 4) 受胎調節	講義	
7	2	5) 自己決定の尊重：リプロダクティブヘルス・ライツ、 母性看護と倫理、不妊治療 6) 出生前診断：生殖をめぐる倫理 7) 在留外国人の母子支援	講義	
8	1	終講試験		
授業形態	講義			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	母性看護学 (1) 母性看護学概論 : 医学書院			
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業科目である			

【専門分野】

科目		単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者		
母性臨床総論		1 (30)	2	第1学期	① 医師 (13時間)	② 助産師 (11時間)	③ 看護師 (6時間)
目 標							
正常な妊娠、分娩、産褥期に生じる母体の生理的变化と新生児の成長発達について学ぶ ハイリスクな妊娠、分娩、産褥、新生児について学ぶ							
ディプロマポリシーとの関連: DP5、DP4、DP2、DP1の達成に寄与							
回	時間	授業内容			授業方法	担当	課題
1	2	1. 妊娠期の特徴と看護 1) 妊娠の成立、妊娠週数・分娩予定日の算出 2) 妊婦の心理			講義	②	
2	2	3) 胎児の発育と健康状態 4) 妊娠経過			講義	②	
3	2	2. 分娩期の特徴と看護 1) 分娩経過と胎児の健康状態(分娩の生理、分娩3要素、分娩機序など)			講義	②	
4	2	2) 観察技法 (胎児心拍陣痛モニタリング、陣痛測定など) 3) 分娩様式			講義	②	
5	2	3. 産褥期の特徴と看護 1) 退行性変化 (子宮復古現象、全身復古など) 2) 進行性変化 (乳房の変化など) 3) 褥婦の心理			講義	②	
6	1	4. 妊娠期、分娩期、産褥期の特徴と看護 まとめ			講義	②	
7	2	5. 新生児の特徴と看護 1) 新生児の特徴 2) 保育環境			講義	③	
8	2	3) 日常生活援助 (衣生活、清潔、栄養、母親への指導) 4) 母子相互作用、親子関係			講義	③	
9	2	6. ハイリスク妊娠・異常妊娠 1) 妊娠高血圧症候群 2) 流・早産 3) 妊娠貧血			講義	①	
10	2	4) 妊娠悪阻 5) 前置胎盤 6) 妊娠糖尿病			講義	①	
11	2	7. ハイリスク分娩、異常分娩 1) 帝王切開術 2) 胎児ジストレス 3) 常位胎盤早期剥離 4) 早期破水・前期破水			講義	①	
12	2	5) 児頭骨盤不均衡 6) 回旋異常 7) 骨盤位分娩 8) 臍帯下垂・臍帯脱出			講義	①	
13	2	9) 多胎妊娠の分娩合併症 10) Rh因子血液型不適合 11) 子宮内発育不全			講義	①	
14	2	8. ハイリスク産褥、異常産褥 1) 子宮復古不全 2) 産褥熱 3) 乳腺炎 4) マタニティーブルーと産褥 5) 精神障害			講義	①	
15	2	9. ハイリスク新生児、異常新生児の看護 1) 低出生体重児 2) 高ビリルビン血症、核黄疸 3) 先天異常、障害をもつ新生児 4) 新生児を亡くした家族へのケア			講義	③	
16	1	終講試験				①	
授業形態		講義					
評価方法 点数配分		筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする					
テキスト		母性看護学(2) 母性看護学各論 : 医学書院					
その他							

【専門分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
※母性看護援助論 I	1 (15)	2	第1学期	助産師
目 標				
女性のライフサイクル各期にある対象とその家族が健康な経過を維持・増進するための基本的な看護について学ぶ				
ディプロマポリシーとの関連:DP5、DP4、DP2、DP1の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	課題
1	2	1. 女性のライフサイクル各期の健康と看護 1) 思春期女性の健康問題と看護: ① 思春期女性の身体的・精神的・社会的特徴	講義	
2	2	② 思春期女性の主要な疾患 月経異常、月経前症候群、月経困難症、 人工妊娠中絶、10代の性感染症	講義	
3	2	2. 母性看護における倫理 1) 出生前診断についての理解 2) 不妊治療についての理解 3) 生殖をめぐる倫理について	講義	
4	2	3. 成熟期女性の健康問題と看護 1) 成熟期女性の身体的・精神的・社会的特徴 性暴力、DV	講義	
5	2	2) 成熟期女性の主要な疾患 子宮筋腫、子宮内膜症、子宮頸がん、乳癌	講義	
6	2	4. 更年期・老年期の健康と看護 3) 更年期・老年期女性の特徴 4) 更年期障害 5) 尿失禁	講義	
7	2	6) 動脈硬化 7) 子宮下垂、子宮脱 8) 骨粗鬆症 9) 子宮体癌	講義	
8	1	終講試験		
授業形態	講義			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	母性看護学概論 : 医学書院			
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業科目である			

【専門分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者	
母性看護援助論Ⅱ	1 (30)	2	第1・2学期	① 助産師 (21時間) ② 助産師 (9時間)	
目 標					
正常に経過する妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期にある対象の看護の実際や援助方法について学ぶ					
回	時間	授業内容	授業方法	担当	課題
1	2	1. 妊娠期にある対象の看護： 1) 妊婦体験と日常生活支援 2) 妊娠期間診	講義 GW	①	
2	2	3) 妊娠期の健康相談・教育の実際 食生活、清潔、活動と休息、マイナートラブルの予防等	講義 GW	①	
3	2	4) 妊娠期にある対象の診察技法の実際 ①子宮底腹囲測定 ②レオポルド触診法 ③児心音聴取 ④安全・安楽な診察介助	演習	①	
4	2	2. 分娩期にある対象の看護： 1) 分娩経過に合わせた看護の実際 ①基本的ニードの観察と援助 ②産痛の観察と援助	講義	①	
5	2	2) 出生直後の新生児の看護	講義	①	
6	2	3. 産褥期にある対象の看護： 1) 日常生活支援とセルフケア支援 3) 退行性変化を促す援助 4) 進行性変化を促す援助 ①母乳栄養確立への支援 ②乳房・乳頭へのセルフケア支援	講義	①	
7	2	5) 産褥期にある看護の実際 ①母児同室 ②退院後から産後1ヶ月	講義 GW	①	
8	2	4. 新生児期にある対象の看護 1) フィジカルアセスメントの実際 ①新生児のバイタル測定 ②身体計測等 2) 育児支援の実際 ①新生児の観察 ②新生児の抱き方・衣服の着せ方 3) 母乳育児支援 (ポジショニング、ラッチオンなど)	演習	①	
9	2	4) 沐浴 (アウトバス)	演習	①	
10	2	5. 産褥期・新生児期の健康教育の実際	GW 発表	①	
11	2	6. 産褥期と新生児期の健康のアセスメントと支援 1) 産後健診 2) 産後うつ	講義	②	
12	2	4) 看護過程の展開 産褥期と新生児期の看護過程の展開①	演習	②	
13	3	産褥期と新生児期の看護過程の展開②	演習	②	
14	2	産褥期と新生児期の看護過程の展開③	演習	②	
15	1	終講試験		①	
授業形態	講義および演習				
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする				
テキスト	母性看護学各論 : 医学書院				
その他					